



当たり前の暮らしを守る

水沢信用金庫

地域とともにある金融機関



地域社会の発展

豊かな暮らしづくりを

目指して



お客様から直接ご要望をうかがい、預金の預入・払戻をはじめとした金融サービスをご提供します。

窓口
のしごと



後方支援
のしごと

窓口の後方で、お客様とのお取引にかかわる
手続をおこないます。



店舗でのお取引に加えて、個人のご自宅や法人の事業所へ職員が直接訪問して、ご相談・ご要望にお応えします。

涉外
のしごと



店舗から距離のあるお客様には、車でおうかがいします。

渉外
のしごと

「当たり前暮らしを守る」でつながるしごと



若手職員
のしごと

窓口・後方支援・渉外など、さまざまな部所で元気に活躍しています。



お取引先の企業が、事業をPRして新しい取引先と交流できる「ビジネスマッチ」を企画しています。

経営支援
のしごと



水沢信用金庫がつながる仕事・業界

行政機関

中小企業をサポートしている国(中小企業庁)、岩手県、奥州市や金ケ崎町などの行政機関と連携して、創業支援や経営支援をおこなっています。



小学校・中学校・高校

金融や経済を身近に感じられるような活動をしています。奥州市内の小中学校での授業「マネースクール」や、高校生のインターンシップを実施しています。



県内外の 社会人軟式野球チーム

当金庫には軟式野球部があります。連盟が主催する「全日本軟式野球大会」などの岩手県代表として出場する実力のチームです。



お祭り、地域行事

地域のお祭りやイベントと一緒に盛り上げています。「水沢公園桜まつり」のライトアップや花火大会の協賛に加え、職員が直接参加する祭りも多いです。



水沢信用金庫

どんな会社なの？



水沢信用金庫

奥州市に本店を置き、中小企業や地域住民が会員となる相互扶助型の金融機関。「地域の発展があってこそ当金庫の発展がありえる」との理念のもと、お客様からお預かりした資金を、地域の資金を必要とする方に融資し、地域社会の発展に努めている。また、若手経営者・後継者交流やビジネスマッチングなど、中小企業の事業・経営も支援する。

所在地	奥州市水沢字日高西71-1
設立	1949年7月
代表者	理事長 及川 和男
従業員数	149名（男性91名、女性58名）
業種	金融業
事業所	本店（奥州） 支店（奥州市内9店舗・金ヶ崎）
H P	http://www.mizusawashinkin.co.jp

